

特定小電力無線電話装置

B1500

簡易取扱説明書

このたびは、特定小電力無線電話装置 B1500 をご購入いただきまして誠にありがとうございます。お買い上げいただきました製品に、万が一不審な点、お気付きの点などがありましたら、なるべくお早めにお買い上げいただきました販売店または CSR カスタマーサポートへお問い合わせください。

株式会社 CSR

〒252-0303 神奈川県相模原市南区相模大野5丁目33番4号
 当社の最新情報をインターネット上で確認してください。
<http://www.kcsr.co.jp/>

Printed in Japan 2017/04

56BC851112

⚠ 注意 (無線機について)

- 無線機の分解およびアンテナの付け替え等は、電波法で禁止されています。絶対に行わないでください。改造した機器を使用した場合は、電波法により罰せられますので、ご注意ください。
- 無線機は、特定無線設備の技術基準適合証明等に関する規則(証明規則)第2条8号「工事設計の認証(認証)を受けた無線局」です。無線機の背面に貼られている証明ラベルは絶対にはがさないでください。

- 無線機は、国内仕様です。国外では使用できませんのでご注意ください。

- 航空機内、空港敷地内、新幹線車両、病院などの使用を禁止された場所では、無線機の電源を切ってください。電子機器や医療機器に影響を及ぼす恐れがあります。
- お手入れの際は安全のため電源を切ってください。また、アルコール・ベンジン・シンナーなどの溶剤を含んだ布で拭かないでください。
- 湿気やほこりの多い場所、高温になる場所に置かないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。
- 乳幼児の手の届かないところで、使用・保管してください。
- 不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けが・故障の原因となることがあります。
- 振動・衝撃の多い場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けが・故障の原因となることがあります。

⚠ 警告 (ACアダプターについて)

- ACアダプターは交流電源 100 V 以外の電圧で使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。
- ACアダプターには当社指定の無線機・電池パック以外を使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。
- ACアダプターはタコ足配線をしないでください。火災・過熱の原因となります。

- ACアダプターを分解・改造しないでください。火災・感電・故障の原因となります。
- 電源ケーブルを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしないでください。火災・感電・故障の原因となります。
- 電源ケーブルが傷んだら販売店または CSR カスタマーサポートにお問い合わせください。そのまま使用すると火災・感電・故障の原因となります。

特長

- 本機は、電波法施工規則第6条「特定小電力無線」に該当する 400MHz 帯の無線機で、特定無線設備の技術基準適合証明等に関する規則(証明規則)第2条8号「工事設計の認証(認証)を受けた無線局」です。免許および申請手続きは一切不要ですので、お買い上げいただいたその日から、ご使用になれます。
- 本機はハンズフリーでお話ができる VOX (ボックス)機能[※]があります。
 ※VOX 機能とは音声を検知して自動で送信する機能のことです。
- 本機は混信を避けるためのトーン(CTCSS)があります。トーン番号が同じ相手とのみ会話をすることができます。トーン番号を使うと1つのチャンネルで最大 38 グループの設定が可能です。
- 本機はチャンネル設定等の内容を音声ガイドにより案内いたします。また、インジケーターの色で本機の状態をお知らせいたします。
- 通話距離は、周囲の建物等の状況により異なりますが、見通しの良い場所では約 300m です。
- 本機はカスタマイズ性が高く、ほぼ全ての設定を「B1500 設定ツール」を用いることで変更できます。お使いの環境に合わせて最適な設定が可能です。「B1500 設定ツール」のご使用に関しましては、お買い上げいただきました販売店または CSR カスタマーサポートへお問い合わせください。

⚠ 警告 (ACアダプターについて)

- 万が一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電・故障の原因となります。必ず AC アダプターの電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店または CSR カスタマーサポートに修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。
- 万一、ACアダプターの内部に水などが入った場合は、必ず AC アダプターの電源プラグをコンセントから抜いて販売店または CSR カスタマーサポートにお問い合わせください。そのまま使用すると火災・感電・故障の原因となります。
- 万一、異物が AC アダプターの内部に入った場合は、必ず AC アダプターの電源プラグをコンセントから抜いて販売店または CSR カスタマーサポートにお問い合わせください。そのまま使用すると火災・感電・故障の原因となります。
- 万一、ACアダプターを落したり、破損した場合は、必ず AC アダプターの電源プラグをコンセントから抜いて販売店または CSR カスタマーサポートにお問い合わせください。そのまま使用すると火災・感電・故障の原因となります。

- ACアダプターの端子を金属でショートさせないでください。火災・感電・故障の原因となります。

- 濡れた手で AC アダプターの電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となります。

- ACアダプターの端子に水滴のついたまま使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。

- ACアダプターを、他の機器の電源として使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。
- ACアダプターの電源ケーブルの上に重いものをのせたりしないようにしてください。ケーブルに傷がついて、火災・感電・故障の原因となります。コードの上を敷物などで覆うことにより、それに気付かず、重い物をのせてしまうことがあります。
- ACアダプターの上や近くに小さな金属物を置かないでください。中に入った場合、火災・感電・故障の原因となります。
- ACアダプターの上にろうそく等の炎が発生しているものを置かないでください。火災の原因となります。



- 雷が鳴り出したら、ACアダプターには触れないでください。感電の原因となります。

安全上のご注意

- ご使用前に必ずこの「安全上のご注意」と「取扱説明書」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- お読みになったあとは保証書と一緒にいつでも取り出せる場所に保管してください。

絵表示について

この「安全上のご注意」では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

	警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
	注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容を示しています。

■本文中に使われている絵表示の意味は、次のとおりです。

	禁止		ぬれ手禁止		水ぬれ禁止
	分解禁止		風呂、シャワー室での使用禁止		指示を守る
	コンセントを抜く		注意		感電注意

⚠ 警告 (ACアダプターについて)

- ACアダプターを風呂場では使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。
- ACアダプターの上や近くに水などの入った容器を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電・故障の原因となります。

⚠ 注意 (ACアダプターについて)

- 旅行などで長期間、充電器をご使用にならないときは、安全のため必ず AC アダプターの電源プラグをコンセントから抜いてください。
- お手入れの際は安全のため AC アダプターの電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。
- 移動させる場合は、ACアダプターの電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。接続されている電源ケーブルが傷つき、火災・感電・故障の原因となることがあります。
- 万一の事故防止のため、ACアダプターを電源コンセントの近くに置き、すぐに電源コンセントからプラグを取り外せる環境でご使用ください。

- 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。
- 乳幼児の手の届かないところで、使用・保管してください。
- 不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けが・故障の原因となることがあります。
- 振動・衝撃の多い場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けが・故障の原因となることがあります。
- ACアダプターに接続されている電源ケーブルを熱器具に近づけないでください。電源ケーブルの被覆が溶けて、火災・感電・故障の原因となることがあります。
- ACアダプターの電源プラグを抜くときは、必ず AC アダプターを持って抜いてください。接続されている電源ケーブルを引っ張ると電源ケーブルが傷ついて火災・感電・故障の原因となることがあります。

⚠ 警告 (乾電池について)

- 単3形マンガン乾電池または単3形アルカリ乾電池以外を使用しないでください。火災の原因となります。
- 使用済みの電池は火中に投げ入れないでください。爆発して火災・やけどの原因となります。

⚠ 警告 (無線機について)

- 自動車などの運転中は無線機を操作しないでください。安全運転の妨げとなり、事故の原因となります。
- 当社指定の AC アダプター、電源ケーブル以外で使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。
- 本機で使用できる電池は単3形マンガンまたはアルカリ乾電池です。

- 無線機を分解・改造しないでください。火災・感電・故障の原因となります。

- 万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電・故障の原因となります。すぐに機器本体の電源を切ってください。煙が出なくなるのを確認して販売店または CSR カスタマーサポートに修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。
- 万一、無線機の内部に水などが入った場合は、まず機器本体の電源を切って販売店または CSR カスタマーサポートにお問い合わせください。そのまま使用すると火災・感電・故障の原因となります。
- 万一、異物が無線機の内部に入った場合は、まず機器本体の電源を切って販売店または CSR カスタマーサポートにお問い合わせください。そのまま使用すると火災・感電・故障の原因となります。
- 万一、無線機を落したり、破損した場合は、まず機器本体の電源を切って販売店または CSR カスタマーサポートにお問い合わせください。そのまま使用すると火災・感電・故障の原因となります。

- 濡れた手で無線機を AC アダプターに取り付け・取り外ししないでください。感電の原因となります。

- 無線機は防水構造になっておりません。無線機を水で濡らしたり、水につけたり、水道やシャワーなどの水流を直接かけることはしないでください。火災・感電・故障の原因となります。
- 無線機の上や近くに水などの入った容器または小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電・故障の原因となります。

- 無線機または電池は火中へ投げ入れないでください。爆発して火災・やけどなどの原因となります。
- 無線機または電池の端子はショートさせないでください。発熱によりやけどの原因となります。

⚠ 警告 (乾電池について)

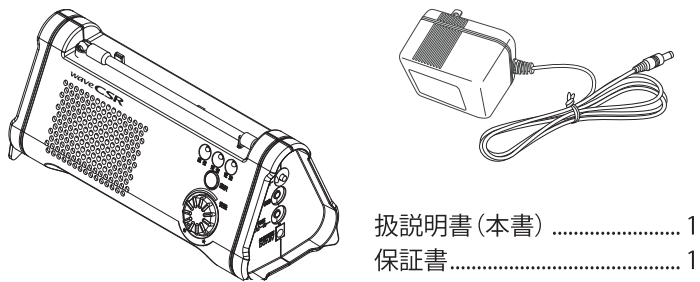
- 乾電池は、充電しないでください。電池の破裂、液もれにより、火災・けがの原因となります。

⚠ 注意 (乾電池について)

- 使用済みの電池は、お住まいの自治体の指示に従って廃棄してください。

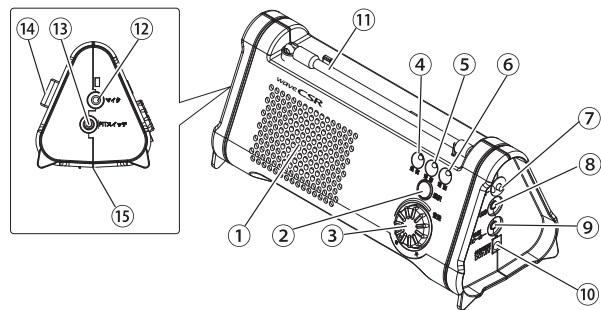
付属品

受信機本体..... 1 ACアダプター..... 1



取扱説明書(本書)..... 1
 保証書..... 1

各部の名称と機能説明



- ① 内蔵スピーカー
- ② 選択ボタン
 - チャンネル等の設定を変更する際に使用します。
- ③ 電源スイッチ／音量調節ツマミ
 - 時計方向に回すと電源が on (入) になり、更に回すと音量が大きくなります。電源が on (入) する際、音声ガイドにより設定内容を確認することができます。
 - 反時計方向に回すと音量が小さくなり、ツマミを回し切ると電源が off (切) になります。
- ④ 送信表示ランプ (赤 LED)
 - 点灯：送信中
 - 点滅：障害検出
 このランプが点滅した際には、お買い上げの販売店または CSR カスタマーサポートへお問い合わせください。
- ⑤ 受信表示ランプ (緑 LED)
 - 点灯：受信中
 - 速い点滅：電池のみ使用時に電池の残量が低下
 このランプが点滅した際には、新しい電池に交換するか、付属 AC アダプターを接続してください。
 - 遅い点滅：パソコンでの設定変更可能状態
- ⑥ 電源表示ランプ (赤 LED)
 - 点灯：電源 on (入) 状態

- ⑦ メニューボタン
 - このボタンを短く押すと音声ガイドにより設定内容を確認することができます。
 - このボタンを 2 秒間長押しするとチャンネル切替になります。[選択] ボタンを押すことでチャンネルが切り替わりますので、相手の方とチャンネルを合わせてください。チャンネルを合わせましたら、再度このボタンを押してチャンネルを確定させてください。
 - このボタンと [選択] ボタンを押しながら、電源を on (入) するとパソコンでの設定変更可能な状態になります。「B1500 設定ツール」を使用して設定情報を変更します。
 - ⑧ USB ケーブル端子 (2.5φ)
 - 「B1500 設定ツール」で設定情報を変更する際に当社指定の USB ケーブル* を接続します。
 - ⑨ 外部スピーカー出力端子 (3.5φ)
 - 当社指定の 8Ω~16Ω 1W 以上のスピーカーが接続できます。
 - ⑩ 外部電源入力端子
 - 付属の AC アダプターを接続します。
 - ⑪ アンテナ
 - ⑫ マイク接続端子
 - 当社指定のマイク* を接続します。
 - ⑬ PTT スイッチ接続端子
 - 当社指定の PTT スイッチ* を接続します。
 - ⑭ ハンドル
 - ⑮ バックアップ用乾電池収納部
 - 単三形アルカリ乾電池または単三形マンガン乾電池を 4 本使用します。
- ※詳しくは、お買い上げいただきました販売店または CSR カスタマーサポートへお問い合わせください。

本体定格

一般仕様

使用周波数.....422.0500MHz ~ 422.3000MHz (単信)
 440.0250MHz ~ 440.3625MHz (半複信送信)
 421.5750MHz ~ 421.9125MHz (半複信受信)

電波形式.....F3E
 通信方式.....単信・半複信方式
 電源電圧.....外部 DC7.5V
 電池単 3 形 4 本 DC6.0V

発振方式.....水晶発振により制御する周波数シンセサイザー方式
 アンテナ.....ヘリカルアンテナ
 周波数切替方式.....手動切替
 使用温度範囲.....- 10℃~+ 50℃
 寸法.....幅 200.0mm 高さ 88.5mm 奥行き 81.0mm
 (突起物含まず)
 質量.....約 430g (電池含む)

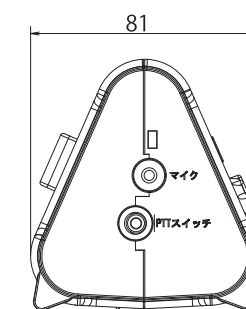
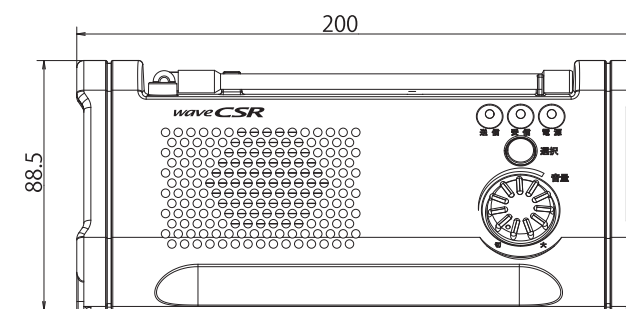
送信仕様

送信出力.....10mW 以下
 周波数の偏差.....±4.0ppm 以下
 占有周波数帯幅.....8.5kHz 以内
 スプリアス発射強度.....2.5μW 以下
 最大周波数偏移.....± 2.5kHz 以下
 変調方式.....周波数変調方式

受信仕様

受信方式.....スーパーヘテロダイン方式
 受信感度.....-8dBu 以下 (12dB SINAD)
 スケルチ感度.....-10dBu 以下
 低周波出力.....600mW 以上 (8Ω 負荷)
 副次的に発する電波等の限度.....4nW 以下

本体外形寸法

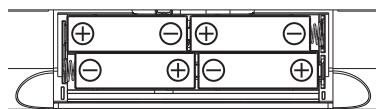


AC アダプター

入力電圧.....AC100V 50Hz/60Hz
 出力電圧.....DC7.5V 500mA
 使用温度範囲.....- 10℃~+ 50℃

準備

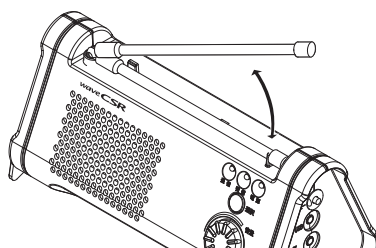
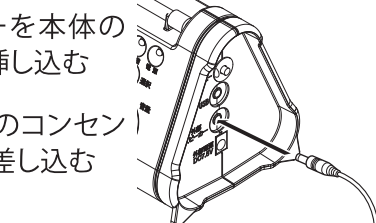
- ① 本体裏の電池カバーを外し、単三形乾電池 (4 本) を入れる
 - 停電等で AC アダプターが使えないときのために、電池は使用してください。



注意

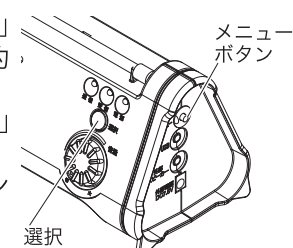
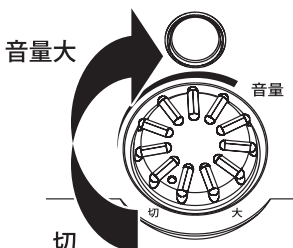
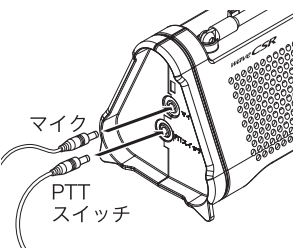
- 古い電池と新しい電池を混ぜて使用しないでください。液漏れをしたり故障の原因になります。
- 電池の残量が少なくなりますと受信表示ランプが速い点滅になります。また、電池残量警告音「プッ、プッ」を鳴らします。速やかに電池の交換をしてください。

- ② 付属の AC アダプターを本体の外部電源入力端子に挿し込む
- ③ 交流 100V (50/60Hz) のコンセントに AC アダプターを差し込む
- ④ アンテナを立ち上げる



送受信する

- ① PTT スイッチとマイクを接続する
 - PTT スイッチとマイクは、当社指定のものをお使いください。
- ② 電源スイッチ／音量調節ツマミを時計方向に回す
 - カチッと音がして、スイッチが on (入) になります。
 - 設定状態を音声でお知らせします。音量を聞きやすい音量に合わせます。
- ③ チャンネルを合わせる
 - [メニュー] ボタンを「カッ」という音が鳴るまで長押し (約 2 秒) します。「チャンネルを選んでください」と音声ガイドで案内します。
 - [選択] ボタンを押してチャンネルを選択します。
 - [メニュー] ボタンを押して、チャンネルを決定します。「カッ」という音が鳴った後に、「チャンネルを変更しました」と変更した内容を音声ガイドで案内します。
- ④ 送信する
 - 本機に接続した PTT スイッチを押します。PTT スイッチが押されると送信表示ランプが赤色に点灯します。
 - 本機に接続したマイクに向かって話します。
 - 設定されているチャンネルや設定内容で送信されます。
 - 相手の方とチャンネルや設定が違う場合は、通話できません。設定を合わせてください。
- ⑤ 受信する
 - 本機に接続した PTT スイッチを離します。
 - 相手が送信すると、相手の声が本機のスピーカーから聞こえます。
 - 受信すると受信表示ランプが緑色に点灯します。
 - 設定されているチャンネルや設定内容で受信ができます。
 - 相手の方とチャンネルや設定が違う場合は、通話できません。設定を合わせてください。
- ⑥ 電源を off (切) するには、電源スイッチ／音量調節ツマミを反時計方向にカチッと音がするまで回す



アドバイス

- チャンネル番号またはトーン番号の詳細な更方法は、「チャンネル番号・トーン番号設定」を参照してください。

保証・アフターサービス

【保証書 (別添)】

この製品には、保証書を (別途) 添付しております。保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

【保証期間】

保証期間は、お買い上げ日より **1 年間** です。

【保証用性能部品の最低保有期限】

弊社はこの本製品の補修用性能部品を製造打ち切り後、8 年保有しています。(補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。)

【修理に関する相談窓口】

修理に関するご相談ならびに不明な点はお買い上げの販売店または CSR カスタマーサポートへお問い合わせください。

CSR カスタマーサポート

0120-973-698

e-mail : lecuo_support@kcsr.co.jp

ご相談受付時間
 9:00 ~ 17:00
 (土日祝日を除く)

標準通話・中継通話の設定

本機は「標準通話」と「中継通話」2つの通話形態もっています。「標準通話」は本機同士で直接通信を行います。「中継通話」はリピータ(中継器)を介して通信を行います。リピータ(中継器)を使うことで、より広い範囲での通話が可能になります。本機では「標準通話」ではチャンネルを20通り、「中継通話」ではチャンネルを27通りから1つを選ぶことができます。トーンはトーン無しおよび38種類用意されています。

- パソコンで設定する際は、B1500 設定ツールを使用してください。
- 現在設定している内容を確認するには、[メニュー] ボタンを一度押してください。

アドバイス

- 標準通話の設定を行うには、中継通話切替が解除されている必要があります。
- 中継通話を解除するには、「標準通話 / 中継通話切替」を参照し設定してください

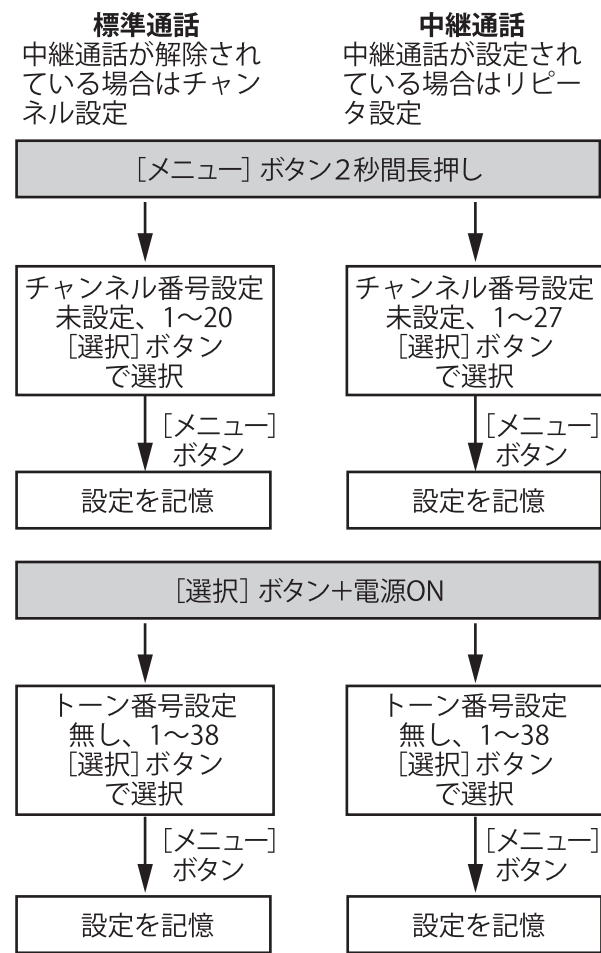
チャンネル番号・トーン番号設定

本機を使ってチャンネル番号とトーン番号が設定できます。

- パソコンで設定する際は、「B1500 設定ツール」を使用してください。
- 現在設定している内容を確認するには、[メニュー] ボタンを短く押してください。

チャンネル番号設定

- 1 [メニュー] ボタンを「カッ」という音が鳴るまで長押し(約2秒)する
 - 「チャンネルを選んでください」の音声ガイドの後に現在のチャンネルを音声ガイドで案内します。
- 2 [選択] ボタンを順次押し、設定するチャンネル番号を選ぶ
 - 標準通話のチャンネルは1～20で選べます。
 - 中継通話のチャンネルは1～27で選べます。
- 3 [メニュー] ボタンを押す
 - 「カッ」という音が鳴った後に、「チャンネルを変更しました」と変更した内容を音声ガイドで案内します。



トーン番号設定

- 1 [電源スイッチ / 音量調節] ツマミを回して電源を切る
- 2 [選択] ボタンを押しながら、[電源スイッチ / 音量調節] ツマミを回して電源を入れる
 - 「トーンを選んでください」の音声ガイドの後に現在のトーンを音声ガイドで案内します。
- 3 [選択] ボタンを順次押し、設定するトーン番号を選ぶ
 - 標準通話のトーンは「無し」、1～38で選べます。
 - 中継通話のトーンは「無し」、1～38で選べます。
- 4 [メニュー] ボタンを押す
 - 「カッ」という音が鳴った後に、「設定を記憶しました」と変更した内容を音声ガイドで案内します。

標準通話 / 中継通話切替

本機は予め設定されている標準通話または中継通話を切り替えます。標準通話または中継通話を変えることで、標準通話より広い範囲での通話が可能になります。

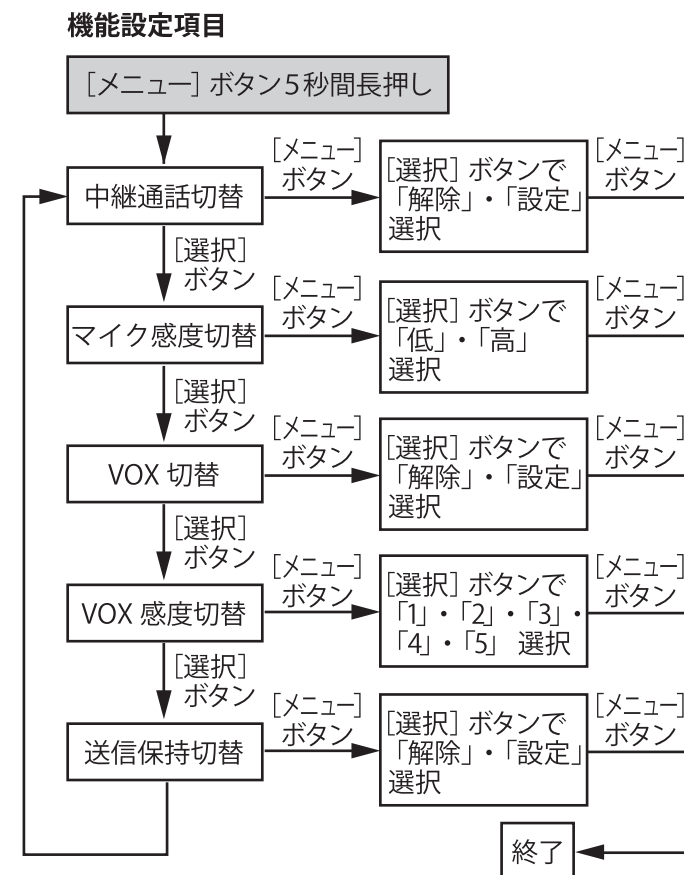
アドバイス

- 標準通話(中継通話解除)が設定されていると、チャンネル番号とトーン番号のみ音声ガイドで案内します。
- 中継通話が設定されていると、電源を入れた時に「中継通話です」とチャンネル番号とトーン番号を音声ガイドで案内します。
- 標準通話と中継通話を同時に設定することはできません。

- 1 [メニュー] ボタンを「カッ」という音が2回鳴るまで長押し(約5秒)する
 - 「設定項目を選んでください」と「中継通話切り替えです。」を音声ガイドで案内します。
 - 音声ガイドの案内中は設定を切り替えることはできません。
- 2 [メニュー] ボタンを押す
 - 現在の設定状態を音声ガイドで案内します。
 - [メニュー] ボタンを押す前に、[選択] ボタンを押すと設定項目が変わってしまいます。設定項目が変わってしまった場合は、「中継通話切り替えです。」を音声ガイドで案内されるまで、[選択] ボタンを順次押してください。

設定項目の選択と変更

設定項目の設定内容を本機で変更することができます。



- 3 [選択] ボタンを押して、中継通話の解除・設定を選択する
 - 標準通話が選ばれると「解除」と音声ガイドで案内します。
 - 中継通話を選ばれると「設定」と音声ガイドで案内します。
- 4 [メニュー] ボタンを押す
 - 「カッ」という音に続いて、「設定を記憶しました」と中継通話の解除・設定* および現在のチャンネル番号・トーン番号が音声ガイドで案内します。
 - ※ 中継通話設定されている時は、「中継通話です」と音声ガイドで案内します。
 - これで設定が変更されました。

設定項目の選択

- 1 [メニュー] ボタンを「カッ」という音が2回鳴るまで長押し(約5秒)する
 - 「設定項目を選んでください」と「中継通話切り替えです。」を音声ガイドで案内します。
 - 音声ガイドの案内中は設定を切り替えることはできません。
- 2 [選択] ボタンを順次押し、変更する設定項目を選択する
 - [選択] ボタンが押される度に、選択されている項目が音声ガイドで案内されます。
- 3 [メニュー] ボタンを押す
 - 現在の設定状態を音声ガイドで案内します。
 - 設定項目が変更できる状態になります。
- 4 [選択] ボタンを順次押し、設定項目を変更する
 - [選択] ボタンが押される度に、選択されている設定が音声ガイドで案内されます。
- 5 [メニュー] ボタンを押す
 - 「カッ」という音に続いて、「設定を記憶しました」および現在のチャンネル番号・トーン番号が音声ガイドで案内します。
 - これで設定が変更されました。

アドバイス

- 設定項目は、パソコンを使用して「B1500 設定ツール」で変更することもできます。

マイク感度切替

マイク感度切替を行うと、お使いの環境に合わせてイヤホンマイクのマイク感度を変更することができます。

- 1 [メニュー] ボタンを「カッ」という音が2回鳴るまで長押し(約5秒)する
 - 「設定項目を選んでください」と「中継通話切り替えです」を音声ガイドで案内します。
 - 音声ガイドの案内中は設定を切り替えることはできません。
- 2 「マイク感度切り替えです」と音声ガイドされるまで、[選択] ボタンを順次押す
- 3 [メニュー] ボタンを押す
 - マイク感度の設定状態を音声ガイドで案内します。
 - 設定項目が変更できる状態になります。
- 4 [選択] ボタンを順次押し、「高」または「低」を選択する
 - 選択したマイク感度が音声ガイドで案内されます。
- 5 [メニュー] ボタンを押す
 - 「カッ」という音に続いて、「設定を記憶しました」および現在のチャンネル番号・トーン番号が音声ガイドで案内します。
 - これで設定が変更されました。

VOX 機能設定

「VOX (ボックス) 機能」を使うと音声に反応して自動的に送信します。従って本機に接続している PTT スイッチを押さずにハンズフリーでの送信が可能になります。

アドバイス

- 当社指定以外の PTT スイッチおよびマイクを使用すると、VOX 機能が働かないことがあります。

- 1 [メニュー] ボタンを「カッ」という音が2回鳴るまで長押し(約5秒)する
 - 「設定項目を選んでください」と「中継通話切り替えです」を音声ガイドで案内します。
 - 音声ガイドの案内中は設定を切り替えることはできません。
- 2 「VOX 切り替えです」と音声ガイドされるまで、[選択] ボタンを順次押す
- 3 [メニュー] ボタンを押す
 - VOX 切り替えの設定状態を音声ガイドで案内します。
 - 設定項目が変更できる状態になります。
- 4 [選択] ボタンを順次押し、「解除」または「設定」を選択する

アドバイス

- マイク感度は通常「低」を設定することをお勧めします。「高」にすると大幅に感度が上がる^{*}ためノイズを拾いやすくなります。
※「高」にするとマイク感度は 20dB 高くなります。

- 5 [メニュー] ボタンを押す
 - 「カッ」という音に続いて、「設定を記憶しました」および現在のチャンネル番号・トーン番号が音声ガイド^{*}で案内します。
※VOX 機能が設定されている時は、「VOX が設定されています」 「VOX 感度 " X " です」と音声ガイドで案内します。
(" X " は設定された VOX 感度を案内します。)
 - これで設定が変更されました。

アドバイス

- 送信保持機能が「設定」状態になっている場合、VOX 機能は無効になります。
- VOX 機能を使用する場合、マイク感度切替は「低」を設定することをお勧めします。

VOX 感度切替

VOX の感度を切り替えることができます。感度は 1～5^{*} まであり、感度の値が大きいほど小さな声に反応し送信するようになります。

※VOX 感度： 1 (低) ↔ 5 (高)

- 1 [メニュー] ボタンを「カッ」という音が2回鳴るまで長押し(約5秒)する
 - 「設定項目を選んでください」と「中継通話切り替えです」を音声ガイドで案内します。
 - 音声ガイドの案内中は設定を切り替えることはできません。
- 2 「VOX 感度切り替えです」と音声ガイドされるまで、[選択] ボタンを順次押す
- 3 [メニュー] ボタンを押す
 - VOX 感度の設定状態を音声ガイドで案内します。
 - 設定項目が変更できる状態になります。
- 4 [選択] ボタンを順次押し感度を替える
 - [選択] ボタンが押される度に、選択されている VOX 感度が音声ガイドで案内されます。
- 5 接続しているマイクに向かって話しかけ、送信表示ランプが点灯することを確認する
 - 送信表示ランプが点灯することを確認することで、実際の感度を確認することができます。
 - この手順では、送信表示ランプが点灯しても送信は行っておりません。
 - マイクは実際に使う位置に取り付けておいてください。
 - 送信表示ランプが点灯しない場合は、手順④に戻って、VOX 感度をより大きな値にしてください。

送信保持切替

送信保持切替を「設定」にすると、接続している PTT スイッチを押すと、ボタンから指を離しても送信状態が保持されます。送信を停止するには再度 PTT スイッチを押します。

アドバイス

- 当社指定以外の PTT スイッチを使用すると、送信保持機能が働かないことがあります。

- 1 [メニュー] ボタンを「カッ」という音が2回鳴るまで長押し(約5秒)する
 - 「設定項目を選んでください」と「中継通話切り替えです」を音声ガイドで案内します。
 - 音声ガイドの案内中は設定を切り替えることはできません。
- 2 「送信保持切り替えです」と音声ガイドされるまで、[選択] ボタンを順次押す
- 3 [メニュー] ボタンを押す
 - 送信保持切替の設定状態を音声ガイドで案内します。
 - 設定項目が変更できる状態になります。
- 4 [選択] ボタンを順次押し、「解除」または「設定」を選択する
 - 「解除」を選ぶと送信保持機能は働きません。

- 6 [メニュー] ボタンを押す
 - 「カッ」という音に続いて、「設定を記憶しました」および現在のチャンネル番号・トーン番号が音声ガイド^{*}で案内します。
※VOX 機能が設定されている時は、「VOX が設定されています」 「VOX 感度 " X " です」と音声ガイドで案内します。
(" X " は設定された VOX 感度を案内します。)
 - これで設定が変更されました。

アドバイス

- 送信保持機能が「設定」状態になっている場合、VOX 機能は無効になります。
- 感度を高くすると通常の会話でも送信してしまう可能性がありますので実際に使用してみて感度の確認を行なってください。

- 5 [メニュー] ボタンを押す
 - 「カッ」という音に続いて、「設定を記憶しました」および現在のチャンネル番号・トーン番号が音声ガイド^{*}で案内します。
※ 送信保持が設定されている時は、「送信保持が設定されています」と音声ガイドで案内します。
 - これで設定が変更されました。

アドバイス

- 送信保持機能が「設定」状態になっている場合、VOX 機能は無効になります。